



2012～2013 年度  
国際ロータリー会長  
田中作次

# Weekly Report Niigata



2012～2013 年度  
新潟ロータリー会長  
下岡正八



## 奉仕を通じて 平和を

2012～13 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 1月第2例会 (2013.1.15) No.2976

### (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

### (2) 下岡 正八会長挨拶

#### 鏡

前回私は時計の話をしました。その際に両義性をM. ポラニーが述べたといいました。これは間違いで、皆さんご存知だと思いますが、フランスの哲学者メルロポンテーです。

デカルトが、人間は心と身という二つの実態を持っていると言った世の中で、メルロポンテーは意識(心)ともの(身)という二分法を避けて、アンビグイター(両義性)を持ってきたのです。たとえば、金星(ヴィナス)を明けの明星、宵の明星というようにです。

ロシアの運動生理学者ベルンシュタインは、人は同じ行為をしていても、毎回同じ意味ではないと言っていますが、日本人は、ものに到る起動は事前に一本の道が決まっていると思いがちです。だから私は、事前にその言葉の意味を定義すべきと言いたいのです。

鏡についてお話しします。皆さん毎朝洗顔する際に、鏡をみるでしょう。色男だな～～～実は人間は、自分の目で自分の顔をみることは出来ないのです。できていると思っているのは「鏡像」の自分なのです。人は鏡を見る前に、自分を認識しています。しかし、地球上の動物で鏡に写っているのは自分であると認識できるのは、わずかです。では、鏡に写った自分は、対面している鏡像と一緒にという違います。鏡の特徴ですが、上下の判断基準は一つですが、左右の判断基準はいくつもあるのです。自分の右手は、鏡像では左側になっています。これを説明するのは、たやすくはありません。

移動方法仮説といって、写っている鏡の真横に移動しそこに立って、その鏡に写っているのが対面に写っている自分です。この際混乱が起らないのは、見たいところだけを見ているからです。

脳の話……脳はさまざまな情報体験を総合して絶えず全体をとらえています。今のところ、人は全体をまるごとみるという方法論を持っていません。つまり人間には、鏡のように全体を一度にみることはできないのです。できているのは外見だけで、ほんの一部、みたいところのみをみるからです。

### (3) 米山奨学生紹介、挨拶 張 文婷さん紹介、挨拶

### (4) ビジターの紹介

松本 英明君(浪江 RC)

### (5) ロータリーの友紹介(川崎 嘉朗広報委員長)

### (6) 委員会報告

・川崎 嘉朗広報委員長 ホームページのアクセス数が少ない様です。アドレス、ユーザーID、パスワードを掲載致しました週報を本日限定で、お配り致しました。ご活用下さい。

・得永哲史社会奉仕委員長並びに樋熊紀雄会員よりお願い

当クラブ会員の樋熊 紀雄医師の同僚の方が関わっておられ、報道でも紹介されました、新潟大学病院入院中の神保 榎(なぎ)君(2歳9ヶ月)が重い心臓病で、コロンビア大学での心臓移植手術を受ける為に1億6500万円の募金をお願いしております。新潟ロータリークラブの皆様には I serve. の精神で、ご協力をお願い致します。(80,790円の御協力、ありがとうございました。)

・相澤青少年交換委員長より地区夏期交換募集案内地区よりドイツとの夏期交換交換学生募集案内が届きました。高校、大学、予備校、専門学校生が対象。2013年8月初旬出発、約3週間ホームステイします。派遣学生の家庭は、7月中旬より3週間の間の前半か後半の約10日間、ドイツ学生2名一組として受け入れることを要望されています。費用は約20万円。当クラブでは2007年を最後に応募しておりませんので、是非、申し込みご希望の方はクラブ事務局へ3月末日までにご連絡願います。

(7) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(1/29 発表)

後藤 司郎君

米山奨学会寄付発表(1/29 発表)

徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(1/29 発表)

樋熊 紀雄君

(8) ニコニコボックス紹介 (1/29 発表)

・桑原 隆君 我が母校、同志社大学の創立者 新島襄の妻が主演の大河ドラマ「八重の桜」がスタートしました。ちなみに同志社を命名したのは八重の兄、山本覚馬と言われています。西原局長、今年は高視聴率をお願いします。

(9) 幹事報告 (石川 治彦元幹事)

・例会終了後、先週開催できなかった新会員オリエンテーションを4階「楓の間」で開催します。

・3月18日 琉球ゴルフ倶楽部において 日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会が開催されます。詳細、参加ご希望の方は2月10日までに事務局へお問い合わせ願います。

(10) 会員スピーチ「歌会始と新潟の縁」

(株)新潟放送代表取締役社長 竹石 松次 君

(11) 本日の出席率 66.28 %

(2週間前は祝日につき休会)

1月22日の例会予定

新年家族会 於 鍋茶屋 (61名出席)

新潟ロータリークラブ会員専用ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

会員専用ページログイン情報

ユーザーID niigata

パスワード rcrerc

## コラム

情報委員長 竹石松次

『新潟ロータリークラブの

友情の輪を広げるために』

伝統と格式を誇る我がクラブの組織を充実させるためには何が必要か！

今年度も新入会員の参加を得て何回となくロータリーの説明をさせて頂きました。

ロータリーとは、奉仕とは、出席することの意味とは、親睦のあり方とは、様々な疑問や行動指針について論議してきました。

歴史ある当クラブの方針、目標については下岡正八会長が、田中作次RI会長が示した3条件として挙げた、

- ① 奉仕理念がぼけてきた
- ② 真の親睦が欠如してきた
- ③ ロータリーの魅力がなくなってきた ことの重要性を指摘しています。

先日、京都相国寺の有馬頼底管長から来港の折、色紙に揮毫して頂いた一文を紹介したい。「祖師心印似鉄牛機」祖師の心印、鉄牛の機に状似たり「お釈迦様より綿々と受け継がれてきた寸分も違わない仏法、その印(しるし)というものは、鉄牛の機能＝働きによく似ている」

かつて、ロータリーを誕生させた先人が思いを馳せた創設の精神、その教えや行動規範は時代が変わろうともいささかの変更はないということでは無いでしょうか。然らば、今私たちは何を為すべきか、原点に立ち返って理想の模範に向かうことではないでしょうか。

即ち

- 1、 真実かどうか
- 2、 みんなに公平か
- 3、 好意と友情を深めるか
- 4、 みんなのためになるかどうか

日本ではおよそ9万人、世界では120万人の仲間と共に友情の和・輪を広げるために。